

事業報告

1. 法人運営事業

(1) 理事会の開催

開催日	審議事項
<p>令和 2年 6月 3日 (7名/定数7名) 監事2名</p> <p>※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため書面での開催</p>	<p>第1号議案 令和元年度社会福祉法人神流町社会福祉協議会事業報告・収支決算・貸借対照表・財産目録について 監査報告</p> <p>第2号議案 評議員の推薦について</p> <p>第3号議案 令和2年度一般会計収入支出補正予算(第1次)について</p> <p>第1号報告 社会福祉法人神流町社会福祉協議会福祉車両貸与事業実施要綱の制定について</p> <p>第2号報告 会長の職務執行状況について</p>
<p>令和 2年 8月 24日 (7名/定数7名) 監事2名が立ち合い</p>	<p>第1号議案 令和2年度一般会計収入支出補正予算(第2次)専決処分について</p> <p>第2号議案 令和2年度社会福祉総合表彰式の開催について</p> <p>第3号議案 社会福祉法人神流町社会福祉協議会事務局規程の一部改正について</p> <p>第4号議案 社会福祉法人神流町社会福祉協議会事務処理規程の一部改正について</p>
<p>令和 3年 3月 10日 (7名/定数7名) 監事2名</p> <p>※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため書面での開催</p>	<p>第1号議案 令和2年度一般会計収入支出補正予算(第3次)専決処分について</p> <p>第2号議案 令和2年度一般会計収入支出補正予算(第4次)専決処分について</p> <p>第3号議案 社会福祉法人神流町社会福祉協議会嘱託職員の勤務時間及び休暇等に関する規則の一部変更について</p> <p>第4号議案 令和3年度事業計画について</p> <p>第5号議案 令和3年度一般会計収入支出予算について</p> <p>第6号議案 評議員会の招集について</p> <p>第7号議案 役員等賠償責任保険契約について</p> <p>第1号報告 社会福祉法人神流町社会福祉協議会認知症高齢者等福祉サービス利用支援事業利用料助成に関する要領の制定について</p>

第2号報告	社会福祉法人神流町社会福祉協議会ホームヘルパーステーション運営規程の一部変更について
第3号報告	社会福祉法人神流町社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程（令和2年11月1日から施行）の一部変更について
第4号報告	社会福祉法人神流町社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程（令和3年1月1日から施行）の一部変更について
第5号報告	会長の職務執行状況について

(2) 評議員会の開催

開催日	審議事項
令和2年6月17日 (13名/定数13名) 監事2名 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため書面での開催	第1号議案 令和元年度社会福祉法人神流町社会福祉協議会事業報告・収支決算・貸借対照表・財産目録について 監査報告 理事の推薦について 第2号議案 第3号議案 令和2年度一般会計収入支出補正予算（第1次）について 第1号報告 社会福祉法人神流町社会福祉協議会福祉車両貸与事業実施要綱の制定について
令和3年3月24日 (13名/定数13名) 監事2名 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため書面での開催	第1号議案 令和2年度一般会計収入支出補正予算（第3次）専決処分について 第2号議案 令和2年度一般会計収入支出補正予算（第4次）専決処分について 第3号議案 社会福祉法人神流町社会福祉協議会嘱託職員の勤務時間及び休暇等に関する規則の一部変更について 第4号議案 令和3年度事業計画について 第5号議案 令和3年度一般会計収入支出予算について 第1号報告 社会福祉法人神流町社会福祉協議会認知症高齢者等福祉サービス利用支援事業利用料助成に関する要領の制定について 第2号報告 社会福祉法人神流町社会福祉協議会ホームヘルパーステーション運営規程の一部変更について

第3号報告	社会福祉法人神流町社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程（令和2年11月1日から施行）の一部変更について
第4号報告	社会福祉法人神流町社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程（令和3年1月1日から施行）の一部変更について
第5号報告	役員等賠償責任保険契約について

(3) 評議員選任・解任委員会

開催日	審議事項
令和2年6月12日 (3名/定数3名)	第1号議案 社会福祉法人神流町社会福祉協議会評議員の選任について

(4) 監査の実施

開催日	審議事項
令和2年5月18日 (2名/定数2名)	令和元年度事業報告の審査 令和元年度資金収支計算書・貸借対照表・財産目録の審査

(5) 会員加入状況

本会の会員は、以下の3種類である。

- ・特別会員 24法人（昨年度比 ± 0）※法人・団体等
 - ・一般会員 774世帯（昨年度比 ▼ 7）※町在住の世帯
 - ・賛助会員 49世帯（昨年度比 △ 4）※資金的に援助していただける方（世帯）
- ※会員加入率 89.6%（昨年度 89.6%）

(6) 役職員研修

No.	研修内容	参加者	No.	研修内容	参加者
1	市町村社協新任事務局長会議	1人	7	福祉教育セミナー	1人
2	社会福祉法人連絡会の設置・運営に向けた情報交換会	1人	8	災害ボランティア連携・協働研修会	1人
3	群馬県内社協職員連絡協議会ステップアップ研修	1人	9	災害ボランティア担当者連絡会議	1人
4	災害ボランティアセンター設置運営研修会	2人	10	災害支援セミナーⅡ	1人
5	災害支援セミナーⅠ	2人	11	地域共生社会推進セミナー	1人
6	市町村社会福祉協議会経理研修経理研修会	2人	12	コロナ禍における災害ボランティアセンター設置運営研修会	1人

※職員車両点検講習を実施。

2. 企画事業

(1) 社協だより

社会福祉協議会の事業の紹介や福祉情報を町民に伝えるため、区長会の協力を得て町内各戸に配布し、福祉意識の啓発をした。

- ・発行回数 年2回（7月、2月）
- ・配布先 町内各世帯、特別会員、小中学校、万場高等学校、診療所

(2) 福祉総合表彰式

地域の社会福祉の向上に功績のあった団体または個人に対し感謝の意を表すため、会長表彰を実施した。なお、今年度は新型コロナウイルス感染拡大により福祉総合表彰式が中止となったため、被表彰者の自宅にて個別に表彰を行った。

- ・日 時 令和2年9月25日（金）
- ・功労者表彰 民生委員児童委員功労者

(3) 収集ボランティア活動

地域貢献活動のひとつとして「使用済み切手」「プルタブ」の収集活動を推進した。

収集種別	回収実績
プルタブ	1.083kg
使用済み切手	3件

(4) 群馬県社会福祉大会

新型コロナウイルス感染防止の観点から、来賓招待、記念講演は行わず、被表彰者については代表受領者のみの参加とし、時間短縮での開催となった。

- ・開催日 令和2年11月17日(火)
- ・会場 群馬県庁 正庁の間

(5) 令和2年7月の九州地方を始めとする豪雨災害対応

令和2年7月の豪雨により被災した九州地方を始めとした各県への災害義援金を募り、32,223円を、群馬県共同募金会をとおして寄附した。

3. 地域福祉事業

(1) 福祉電話なんでも相談事業

福祉サービスや制度に関することを電話で相談支援をした。

- ・相談件数 0件

(2) レクリエーション用具貸与事業

地域や福祉施設での集いやボランティア団体などに対して、レクリエーション用具の貸し出しを実施した。

用具名	レクセット	輪投げ	スカットボール	体力測定器具
貸出件数(件)	3 [2]	7 [4]	2 [2]	0 [1]

※ []内は用具の所有数

(3) 福祉日常生活用具貸与事業

在宅での寝たきり高齢者や身体に障がいのある方に対し、自立を助け介護者の負担を軽減するために実施した。

用具名	手動ベッド	電動ベッド 1 モーター	電動ベッド 2 モーター	車イス
貸出件数 (件)	0 [1]	2 [4]	4 [9]	4 [1 2]

※ []内は用具の所有台数

(4) 福祉車両貸与事業

介護を必要とする高齢者や障害者等に、車いすごと乗降可能な自動車を貸し出し、社会参加と生活圏の拡大を図ることを目的とし実施した。

- ・貸出件数 0 件

(5) 生活福祉資金貸付事業

ア 福祉資金 緊急小口資金

低所得世帯を対象に、緊急かつ一時的に必要とする生活費等の資金を貸し付け、併せて必要な援助指導を行い、生活の安定を図る事を目的とし実施した。

- ・相談件数 0 件
- ・貸付件数 0 件

イ 福祉資金 福祉費

生活に不安を抱えた低所得者、障がい者及び高齢者世帯の方々に、資金の貸し付けと併せて必要な相談支援を行うことで、その経済的自立や生活意欲の向上を図り、また在宅福祉及び社会参加を促進し、もって安定した生活を送れるようにすることを目的とし実施した。

- ・相談件数 0 件
- ・貸付件数 0 件

ウ 福祉資金 緊急小口資金 (特例)

新型コロナウイルス感染症の影響をうけ、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯を対象に実施した。

- ・相談件数 2 件
- ・貸付件数 1 件

(6) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が十分でない方を対象に、地域で安心して日常生活が過ごせるように、福祉サービスの利用手続きの援助や代行、日常的なお金の出し入れなどのサービスを提供した。

- ・住民税課税世帯 1, 200 円/時間
- ・住民税非課税世帯 700 円/時間
- ・生活保護世帯 無料/時間

(7) 生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者に対して、経済的自立や日常生活の自立、社会的自立のための様々な支援を個別的、包括的に行った。

- ・相談件数 1件

(8) ボランティア活動保険加入事業

国内におけるボランティア活動中の様々な事故によるケガや損害賠償責任を補償する保険を受付した。また、ボランティア連絡協議会の会員に一人あたり100円の助成をした。

- ・ボランティア連絡協議会加入者数 43名
- ・個人ボランティア加入者数 0件
- ・団体ボランティア加入件数 4件
- ・ボランティア行事保険加入件数 1件

(9) 思いやり駐車場利用証発行事業

公共施設や病院、商業施設に設置されている車いす駐車場を適正かつ有効に活用し、障がいのある方や介護認定を受けている方、妊産婦の方に利用証を交付し、広く利用していただく制度である。

- ・交付件数 0件

(10) 生活支援体制整備事業

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療、介護のサービス提供のみならず、地域住民に身近な存在である市町村が中心となって、NPO法人、社会福祉法人、社会福祉協議会、地縁組織、シルバー人材センター、商工会、ボランティア、介護サービス事業所、老人クラブ、民生委員等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に行っていくことを目的とする。

- ・協議体開催回数 4回
- ・町外研修参加 0人

(11) 保健・医療・福祉スタッフミーティング

保健・医療・福祉・地域包括支援センターの各担当者が一堂に会して、連絡及び協議を行った。

- ・出席回数 9回

※新型コロナウイルス感染症対策のため4月から6月は中止。

4. 児童福祉事業

(1) 特別入学祝い金

入学児童を有するひとり親家庭に対し、入学祝金を支給することにより就学を奨励し、被保護世帯の自立を助長することを目的とし実施した。

- ・対象 小学校入学者 3名
- 中学校入学者 2名

(2) 子育てサロン

0才～未就学児の親子を対象とした仲間づくりと情報交換の場として、『育児プレイルームすこやか』で開催した。

- ・開催回数 4回
- ・延参加組数 11組（延参加人数20人）

※新型コロナウイルス感染症対策のため4月から8月は中止、12月から2月は中止。

5. 福祉教育事業

(1) 福祉教材貸出事業

福祉教育の一環として、学校や団体で高齢者疑似体験を行うにあたり、用具の貸し出しを実施した。

- ①高齢者疑似体験セット
- ②盲人疑似体験セット
- ③妊婦疑似体験セット

(2) 福祉協力校活動助成事業

小・中学校の児童・生徒が社会福祉への理解と関心を高めるために、県が実践校指定を行ってきたが、県の指定終了後も社協独自に助成した。

- ・万場小学校 助成金額 20,000円

6. 障がい者福祉事業

地域活動支援センター事業

雇用されることが困難な知的障がい者、身体障がい者及び精神障がい者に創作的活動または生産活動の機会を提供し、社会との交流を推進するためのサービスを提供した。

- ・開館日 243日

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
※1	62	61	84	74	55	63	35	52	54	54	53	69	716

※1 延利用人数

- ・昼食会 12回

7. 高齢者福祉事業

(1) 高齢者サロン

地域を拠点に少人数の参加者が歩いて行ける場所で、住民である高齢者等と地域住民とが協働で企画して運営していく楽しい仲間づくりの場として、情報交換会などを開催し支援した。

- ・情報交換会 令和2年6月5日（金） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

・開催状況

地区	サロン名	場所	開催回数	延参加人数
万場三区	旭の会	万場三区集会所	6回	82人
万場一区	万場茶話会	栃本集会所	23回	145人
船子二区	さくら会	高塩集会所	12回	119人
	榎森お茶会	榎森集会所	0回	0人
魚尾	おしゃべりサロン	中郷集会所	4回	26人
神ヶ原	神ヶ原サロン	保健福祉センター	3回	17人

※この他に地区独自で行われている高齢者集会に対し相談支援をした。

(2) 高齢者健康教室事業

高齢者が幅広く生きがいを持ちながら、いきいきと心豊かに過ごし、社会的能力を高めるため開催した。

- ・開催日 令和2年11月20日(金)、11月24日(火)
- ・内容 ソープフラワーでリース作り
- ・参加者数 合計16人

(3) ひとり暮らし高齢者交流会事業

ひとり暮らし高齢者の相互の交流を図るために、会食や福祉制度の普及啓発等の交流会を開催した。今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、7月と10月の2回をそれぞれ2日間に分けて開催した。

- ・開催回数 4回
- ・延参加者数 54人

(4) 高齢者能力活用センター事業

働くことを通じて、生きがい・ふれあい・健康づくりを図り、豊かな知識と経験・技術を生かして、活力ある地域社会づくりのために事業を実施した。

- ・会員数 男性15人、女性5人、合計20人
- ・就業人員 実就業人員20人、延就業人員998人
- ・作業内容 公園植栽管理・トイレ清掃・粗大ゴミ運搬・家庭の除草など

(5) 公共交通空白地有償運送事業（通称：メジロ）

外出することが困難な高齢者、障がい者の方を対象に日常的な外出の手助けとして移送サービスを実施した。

- ・営業日数 243日
- ・会員数 132人
- ・延利用回数 2,697回

(6) ミニデイサービス事業（通称：日向ぼっこの会）

在宅の高齢者に対し介護予防の一環として、参加者相互の交流や、心身機能の維持を目的としたレクリエーション等を曜日を決めて定期的実施した。

- ・開催回数 87回
- ・開催地区 尾附・西部地区、魚尾①地区、魚尾②地区、魚尾③地区、万場二区・三区地区
塩沢地区、船子一区上地区、船子一区下地区、小平地区、相原地区、平原地区、間物・瀬林地区

(7) 高齢者訪問事業

ひとり暮らし高齢者等の安否の確認、マップ作成、生活上の悩みごと相談、関係機関への取り次ぎを行い安心安全な暮らしの援助に努めた。

- ・訪問実人数 152人
- ・延訪問人数 537人

(8) 配食サービス事業（宅配のみ）

在宅の要援護高齢者等に対し生活における自立と質の確保及び健康の維持を図り、高齢者等の介護予防及び家族等の身体的な負担の軽減を図ることを目的にサービスを実施した。

- ・登録者数 82人
- ・延配食数 6,069食

8. 介護保険

(1) 居宅介護支援事業

要介護・要支援の認定を受けた方、またはその家族が安心して在宅生活を送れるよう、介護支援専門員（ケアマネジャー）が本人・家族の希望を伺い、心身の状況にあったサービスが利用できるような各種事業所と連携を図り、介護サービス計画（ケアプラン）の作成をした。

- ・営業日 243日
- ・利用状況

（単位：人）

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
延利用者数	56	70	44	1	0	171

(2) 介護予防支援計画作成事業の受託

- ・ケアプラン作成件数 42件

(3) 要介護・要支援認定調査実施事業

要介護及び要支援の認定の申請があった時に、町が申請者に対して、心身の状況や日常生活の様子を面接調査した。

- ・調査件数 2件

(4) 訪問介護・介護予防日常生活支援総合事業（ホームヘルパーステーション）

ケアプランに基づき、訪問介護員（ホームヘルパー）が日常生活の家事援助、身体介護等のサービスを提供した。また、家族の身体的・精神的負担の軽減を図ることを目的にサービスを提供した。

- ・営業日 243日
- ・利用状況

(単位：人)

介護度	事業対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
延利用者数	84	21	19	239	196	5	0	0	564

- ・生活援助 543人
- ・身体生活援助 21人

9. 共同募金会事業

群馬県共同募金会神流町支会

(1) 赤い羽根募金運動

10月から12月までの期間、全国一斉に行われた「赤い羽根共同募金運動」を展開した。

- ・募金実績額 226,154円

(2) 地域歳末たすけあい募金運動

歳末に「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンとして、地域歳末たすけあい募金運動として実施した。

- ・実施期間 12月1日から12月28日まで
- ・募金実績額 28,169円

10. 各種団体事務

団体事務を受託し事業を実施した。

- ・老人クラブ連合会、遺族会、母子寡婦会、ボランティア連絡協議会、おもちゃ図書館

- 1 1. 福祉サービス苦情
- ・苦情件数 0件